

Vol.326

中央大学父母連絡会

草のみどり

Kusa no Midori

2021.

7

Special feature
FRONT LINE 文学部

巻末特集
オンライン父母懇談会開催中！



特集

2 FRONT LINE 文学部

巻頭のことば

法学部助教 浦谷 郁子

学部情報

8 法学部／やる気応援奨学金Report

法学部国際企業関係法学科3年 額田 蓮

法学部だより

法学部教授 牛嶋 仁

10 経済学部／経済学部から世界をひらく

経済学部国際経済学科4年 工藤 真理衣

経済学部だより

経済学部事務室 蓬萊 彩華

12 商学部／私の商学部LIFE2021

商学部経営学科4年 酒部 真緒

商学部だより

商学部事務室 北條 言実

14 理工学部／理工の最先端研究に迫る!

理工学研究科都市人間環境学専攻修士2年 茂呂 和輝

理工学部だより

図書館理工学部分館

16 文学部／文学部生のリアルな!学生生活

文学部人文社会学科哲学専攻2年 森 美樹

文学部だより

文学部事務室 細見 麗子

18 総合政策学部／プロジェクト奨学生の眼

総合政策学部国際政策文化学科4年 高橋 未希

総合政策学部国際政策文化学科4年 和田 啓吾

総合政策学部教授 加藤 久典

総合政策学部だより

総合政策学部国際政策文化学科4年 山本 一穂

20 国際経営学部／世界を動かす人になろう

国際経営学部国際経営学科3年 蔣 貝琳

国際経営学部だより

国際経営学部教授 田淵 隆俊

22 国際情報学部／テクノロジーと法の未来へ

国際情報学部国際情報学科2年 松倉 妃那

国際情報学部だより

国際情報学部事務室 水迫 拓摩

24 わたしたちのゼミへようこそ

法学部法律学科3年 大久保 真優

法学部教授 青木 裕子

26 まるちあんぐる

商学部准教授 舟木 律子

28 GO GLOBAL 中央から世界へ。国際センター NEWS

28 理工学生の国際活動報告

理工学研究科応用化学専攻博士課程前期課程2年 水上 大地

30 キャリアインフォメーション

34 OB・OGからのMessages

グーグル・クラウド・ジャパン合同会社 湯浅 建一

36 中スポPLUS

ラグビー部

39 学友会 文化系サークル紹介

第二演劇研究会

40 ボランティア通信

法学部法律学科4年 藤澤 史織

42 学生部掲示板

44 白門祭奮闘記

白門祭実行委員会第55回委員長 市川 雄大

白門祭実行委員会事務局長 鹿倉 遥

理工白門祭実行委員会委員長 谷岡 恵那

iTLFest.実行委員会委員長 藤山 勇愛美

46 CAMPUS NEWS

49 FUBOREN NEWS

草のみどり

2021年7月号(通巻第326号) / 2021年7月1日発行

発行 中央大学父母連絡会

編集 『草のみどり』編集委員会

制作 株式会社アズディップ

[本誌に関するお問い合わせ]

〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1

中央大学父母連絡会事務局 TEL:042-674-2161

国際経営学部3年の^{しょう かいりん}蔣 貝琳さんは、中国・上海出身の留学生です。蔣さんに国際経営学部での様子をインタビューしてみました。



Vol.08

世界を動かす人になろう

留学生インタビュー

FACULTY OF GLOBAL MANAGEMENT

Interviewer

国際経営学部事務室 金村・勝田

Q 蔣さんはなぜ国際経営学部を進学先として選んだのでしょうか？

私が日本に留学しようと思った理由は、親戚が日本に30年ほど住んでいることもあり、安心して留学できると思ったからです。日本には2018年の4月に来て、その年の7月から2019年の3月までは日本語学校に通い、大学進学のための準備を進めました。貴重な学生時代の時間を有効に使うために、英語と日本語を両方勉強できる大学を探る中で、その環境が整っている中央大学国際経営学部を選びました。

国際経営学部は7割の授業を外国語（主に英語）で行っているため、自分に合っていると思ったのです。

Q 実際、国際経営学部はどんなところで
すか？

初めて大学に来たときから、事務室の人が親切に声を掛けてくれ、先生たちもとても優しいので、家族のような存在に感じ

ています。小さい学部なので、同じ学年の人とすぐに知り合いになれるし、そういうところにも過ごしやすさを感じています。

日本人の学生とも、日本語や中国語、英語を織り交ぜながら話しています。友人と一緒に勉強するときは、みんな真剣に取り組んでいるので、とてもいい雰囲気です。

そのような環境で毎日刺激を受けています。もちろん、最初は大変でした。1年次の入門演習では、英語でのプレゼンテーションや発表の準備がとても忙しくてつくづく感じたこともありましたが、友だち同士で助け合えたおかげで、今は充実した毎日を過ごせています。

現在は、専門演習で日本を含むアジアとヨーロッパにおける女性の労働環境の違いを研究しています。そのほかにも、マーケティング論やミクロ経済学、コーポレートガバナンスなど、面白い授業をたくさん受けています。授業以外にも新人生ガイダンスのサポートをしたり、企業訪問の企画





にかかわったりして、学部での活動を楽しんでいます。

学生生活の中で一番印象に残っているのは、1年次の短期留学です。アメリカの UC Davis 校に行きましたが、語学を習得できただけでなく、文化の違いを理解する大切さを学びました。ホームステイ先でのコミュニケーションに最初は距離を感じましたが、最後は家族のようになれました。また、留学先では、先生が自分を過小評価せずに頑張るよう励ましてくれたので、より自分に自信を持てるようになりました。優秀な人たちに囲まれ、勉強に対してのモチベーションが高まったのを今でも覚えています。

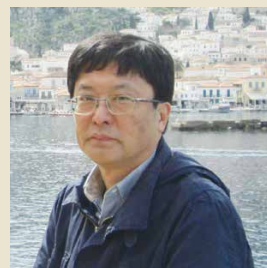
Q 今後の計画やキャリアプランについて教えてください

大学院への進学も考えていますが、いずれにせよ日本で就職したいと考えています。外資系のコンサルティング業界や小売業界、広告業界に興味を持っています。コンサルティング業界はいろいろな業界とかわりがあるので、将来的には転職にも役立つのではと考えています。今は日本で働いていくために、今年中に日本語能力試験 N1 の取得をめざして、日本語の勉強を頑張っています。そのほかにも、3年生の夏休みや春休みにはインターンシップにもチャレンジし、キャリアプランを実現できるように励んでいきたいです。

国際経営学部だより

国際的な視野を

たぶち たかとし
国際経営学部教授 田淵 隆俊



大学では勉学に勤むことが第一ですが、サークルや旅行などの課外活動に励むことも大変大切です。

しかし今、サークルでは限られた活動しかできず、旅行にもなかなか出かけられないのが現状でしょう。コロナ禍がこのまま続くと、行動範囲が限定され視野が狭くなっていきそうです。

そこで、こういうときだからこそ、ぜひとも国際的な視野を養ってほしいと思います。グローバル化の進展とともに、市場経済は国境をいとも簡単に越えています。モノを買ったり、知識を得たり、友人と話したりするには、Google、Amazon、Facebook、Appleなどが提供するツールが必需品になってきました。これらの多国籍企業は、世界市場におけるシェアを拡大しつつあり、特にアメリカにおいて経済成長を推し進める原動力になっています。

これらの企業が大事にしているのは、多様性です。新商

品や新技術を生み出すためには、書物やネットの知識だけでは限界がありますし、同質的な友人が集まって議論しても、新たな知識の獲得はあまり期待できません。

新しいアイデアや知識の創造には、多様な人たちと意見を交わし、激論することが肝要です。ハリウwoodsの映画、ニューヨークのミュージカル、パリのファッション産業は、異なる文化や習慣を持つさまざまな人たちの共同作業によって生み出され、今や世界をリードする産業になりました。

外国人と交流し一緒に仕事をすることによって、ビジネスや芸術はさらに発展していきます。このような国際化は、海外旅行や留学から始まりますが、残念ながら当面は叶わないでしょう。しかし、コロナ禍はいずれ必ず収束します。そのための、ぜひとも海外に目を向けてほしいと願っています。